



研究開発・臨床評価



【携帯電話】

2007年2月、NTTドコモから発売された「FOMA D800iDS」は初の2画面式の携帯電話です。タッチパネル式のため、細かい操作が苦手な方や、マウススティックを使用している頸髄損傷者などには非常に使いやすい機能となっています。また、外部から操作できるボタンスイッチ等を接続することができ、自動的にカーソルが移動する操作モードを使えば、ボタン1つでさまざまな機能を操作することができます。ソフトウェアの設計アドバイスや外部スイッチの活用等、臨床面での使いやすさの向上に寄与しました。



共同開発企業：三菱電機㈱



【ベビーカー用クッション】

ユニバーサルデザインを意識したベビーカー用姿勢保持クッションシステムの研究開発及び臨床評価を行いました。

共同開発企業：コンビ㈱



【ベッド】

廃用症候群を予防するため、在宅生活での移動および移乗動作を支援するベッド・ベッド周辺機器の開発を行いました。

共同開発企業：パラマウントベッド㈱



【電動車いす】

重度身体障害者を対象として姿勢保持機能と姿勢変換機能をあわせ持つ電動車いすの開発を行いました。

共同開発企業：日進医療器㈱



【工事中仮設資材】

工事中のバリアフリー推進の目的のため、白杖使用者が工事区域を認知できる工事中仮設資材の開発に協力しました。

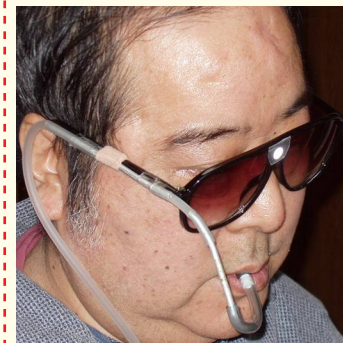
共同開発企業：日本交通産業㈱



【座いす】

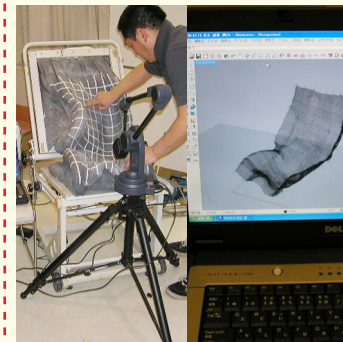
姿勢保持機能が付いた座いすの開発を行いました。座った人の身体の筋肉に及ぼす影響や座圧の分布状況を測定しました。

共同開発企業：榎加地



【コンピュータ支援】

頸髄損傷者の頭の動きでパソコン画面上のマウス操作を可能にしました。赤外線反射シールとクリック操作の呼吸スイッチをサングラスフレームに一体化することで使いやすさを向上させました。



【姿勢保持クッションの適合】

強い体幹変形のある方に対して、姿勢保持用クッションをCADシステムにより製作することができます。CADを用いることによってデータの集積や調整を確実にこなうことが可能になります。



【コミュニケーション支援】

進行性筋ジストロフィー症の方に対して、パソコンのキーボード操作を支援するため、軽量のカーボン製のスティックの先端に特殊な磁石を取り付け、磁気で反応するセンサを製作しました。



【釣り支援】

進行性筋ジストロフィー症の方が趣味・娯楽としている「釣り」を支援するため、釣り竿を電動車いすに取り付ける工夫と竿を昇降させ、魚を釣る過程を楽しめる装置を製作しました。



←改造前
改造後→

【住宅改造・知的障害】

自閉症のお子さんに対して、リビングと台所の間に引戸を設置しました。生活スペースを明確にし、生活の安定を図りました。戸のガラス部にはポリカーボネートの素材を使用しています。



【レバー式車いす駆動システム】

レバーを前後に動かすことで、車いすの前進、後退、回転ができる新たな車いす駆動装置の臨床評価を行いました。

臨床評価：アバンテ㈱



【歩行器】

安全で効率的な歩行が促進できるようにサドル部分にサスペンション機能の付いた歩行器の設計製作を行いました。

共同開発企業：(有)トモ



【電動車いす操作スイッチ】

重度障害のある方が電動車いすを操作できるように工夫したスイッチ式コントローラーの臨床評価を行いました。

臨床評価：ヤマハ発動機㈱



【盲導犬ハーネスの改善】

従来のハーネスの問題点を整理し、使いやすいハーネスの試作機を製作しました。

共同開発：(財)日本盲導犬協会 (財)栃木盲導犬センター



【補助犬用クールベストの試作】

補助犬の体温上昇を防ぐことを目的とした犬用ベスト。専用保冷材(15分冷蔵で2時間屋外使用が可能)を背中に2列配置しています。

共同開発企業：(株)プロップ



【研修・啓発・ヨッテク】

地域での高齢者、障害児等の生活支援に関わる機関や施設を対象に、当センター専門職によるリハビリテーション関連技術や知識を提供しています。研修事業は、地域の保健・医療・福祉等関連領域の人材育成や彼らの提供するサービスの質的向上を図るうえで有力な支援となっています。

また、毎年夏には、最新の各種福祉機器の体験や、ワークショップなどのプログラムを用意し、人とテクノロジーの調和を考え、福祉を支える人のアクティビティとテクノロジーの素晴らしさを分かりやすく伝えていくイベント「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド」に協力しました。



研修・啓発

